



陶史の森からのご案内

バードウォッチング (自由参加)
4月27日(日)、5月25日(日)
午前9時~11時
※集合場所は林泉の池堰堤

●オオクワガタの標本を寄付いただきました。ネイチャーセンターで展示しています。ぜひご覧ください。

遊歩道脇の日陰に、直径15cmくらいの白い風車のような花を見かけます。キンポウゲ科センニンソウ属の「カザグルマ」です。

渦巻いたような種子ができます。この種子は風で運ばれるのではなく、野鳥などにくっついて広がりますが、発芽するのは早くて翌々年の春、花が咲くまで最短で2年半、普通なら4年半かかります。種子から風車の姿になるには長い時間がかかります。

カザグルマは、その美しさ故の採取や生育環境である湿地の減少で、岐阜県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。近年、陶史の森でも数が減っている貴重な花です。

大輪の美しい花を見かけたら、そっと観察してください。

新緑の中の風車 ーカザグルマー

トキハク
プロジェクト

新博物館準備だより

学芸員は、いま何してる？

美濃陶磁歴史館
(☎55-1245)



陶祖祭の様子 (昭和40年頃か)



廉売市の様子 (同上)

写真提供：泉陶磁器工業協同組合

第12回 土岐 思い出写真館「陶祖祭」

2枚の写真は、泉町の榎公園で行われていた「美濃陶祖祭」と陶祖祭に伴う美濃焼廉売市の様子です。陶磁器産業が基幹産業である土岐市では、陶祖を顕彰する美濃陶祖祭が市を挙げて盛大に行われていた時期があり、この日は学校も休みになりました。

数年前まで毎年4月に土岐市駅周辺で行われていた「陶器祭り」は、美濃陶祖祭に伴う美濃焼廉売市として始まった行事でした。写真からは、

特売の美濃焼を買い求めに、多くの人が詰めかけにぎわう様子がうかがえます。

こうした行事や町並みが撮影された写真は、一枚一枚が土岐市の歴史を物語る貴重な記録です。写真を新博物館で保存活用するため市民の皆さんへ提供を呼びかけ、収集を開始しています。現在、写真のデジタル化を進めており、今後この連載の中でもデジタル化した写真を紹介していく予定です。

また、本号折り込みの情報誌「美濃陶磁歴史館だより」では、「土岐 思い出写真館」として、さらに多くの懐かしい写真を紹介しています。ぜひ、合わせてご覧ください。